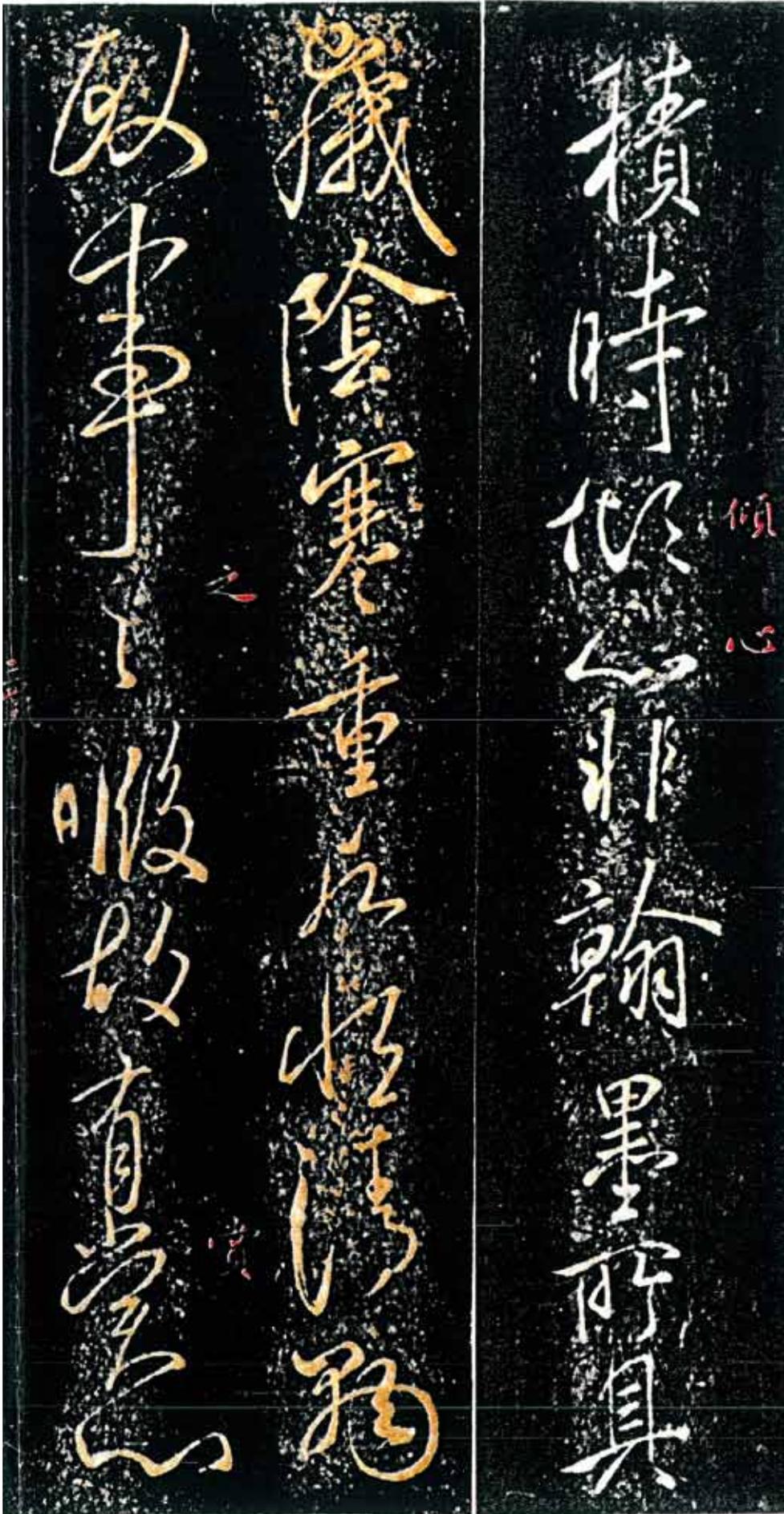


積時帖（宋時代の潭帖より）



書の道

No.479

令和2年 7月号

特集 積時帖
唐虞世南の書

※積時帖は平成8年2月号に記載の余清齋帖の物が良いです



虞世南像

世為同表氣既自甚但

有困由方未近展接

增其替位深味子加

德以海為雨法如字

慰其延首賢子冬毛
身見朽都大不凍萬
一冬之世尚生

十二月廿五日
名有彩朱名之能亦

積時帖の積文(9頁参照)

(積時) 年を重ねて

長い間あなたのことが気がかりでした。

手紙や言葉では表わすことはできません。

年末の寒さが厳しい中ずっと元気でいたいものです。

仕事がひまになって心から楽しみたい。

世南(私)は、いよいよ年を取りました。

劣えて体もよくありません。

(未近展接) まだ何もしていません。

涙が増すばかりです。

あなたの明徳を敬い(あなたの為に)、何度か書きました。

ずっと待っていて下さるので、

すべてわるいところをみせたので何もいえません。

(申しわけありません)

十二月二十五日

もし新しいものが出来たらおしえて下さい

荒金節子積

※(この積時帖においては荒金節子氏が苦勞を重ねて読み、P1・P8・P9など解読困難な場合の追求をおこなってくれた。解読においては荒金治氏や耽曉丹氏の協力があつたこと) 大琳拜

賢子



上の二つの文字は
どんな文字？

次の四つが想像されます。

一・「墓」の一文字説
(張建平氏の説)

一・「冬曹」



冬曹＝工部尚書のことです。

唐・元稹《唐故福建等州都团练观察处置等使裴公墓志铭》冬曹晋阳、冬曹指其父工部尚书裴郃

一・「危」



一・「土」

真実はわかりませんが二つ目の冬曹が有望と思われれます。

唐 虞世南 積時帖

積時傾^レ心。非^二翰墨所^レ具。歲陰寒重。願恒清納。政事之暇。故有^二賞心^一。世南衰羸日甚。但有^二困劣^一。未^レ近^二展接^一。增^二其濟泣^一。深敬^二明德^一。行^下便為霑^二數字^一。慰^中其延首^上。賢子□□。具見朽弊。不^レ陳^二萬一^一。虞世南呈。

十二月廿五日

若有^二新製^一願能示。

(四六駢儷^{しろうくべんれいたい}体を、とっている)

積時＝年を重ねて 時間がたつて

傾心＝気になることは

翰墨＝手紙・言葉・書道

歲陰＝年末

寒重＝寒さが厳しい

清納＝清らかでいたい↓元気でいたい

政事之暇＝仕事かひま・仕事のあいま

故有賞心＝心から楽しみたい

衰羸＝おとろえる

日甚＝いよいよ

但＝しかし

有困劣＝こまったことには

未近展接＝まだ見通しが立たない

增其濟泣＝涙が増すばかり

深敬明德＝あなたの明德を深く敬い

行便為霑數字＝何字か書きました

慰其延首＝首を長くしてずっと待っていて

賢子□□＝よくわかりませんか？

具見＝ぜんぶみる

朽弊＝わるいところ

不陳萬一＝少しも言えない

若有＝もしあれば

新製＝新しいもの

願能示＝おしえて下さい



2020

7
July

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

「日本の心」
 ななこの詩
 和の国日本の
 おもてなし
 小さな仕草にも
 思いやり

